

あいさつで元気に



平野 心莉さん

ひらの しんり

優秀賞
築地中学校 3年

朝、一日のはじまりの言葉、「おはよう。」
みなさんは、毎朝この言葉を元気に言
えていますか。私は、毎朝、元気にあい
さつをしています。そして、たくさんの
人があいさつを返してくれるので、毎朝、
気持ちよく一日をスタートすることがで
きています。

そんな私も、小学校四年生のときまで
は、「あいさつをしても返してくれなかつ
たらどうしよう」という不安で、自分か
ら積極的にあいさつすることができませ
んでした。そのため、日頃から、親に「あ
いさつをしつかりしなさい。」と言われ
続けていました。そんな私ですが、ある
ことがきっかけで、「あなたのあいさつ
素晴らしいね。」と褒められるようにな
りました。

きっかけは、小学五年生のあいさつ運
動をしている時でした。私は委員会の活
動として、朝、玄関前に立つてあいさつ
をしていました。はじめは、声も小さく、
真顔であいさつをしていました。でも、
登校してくる人たちのほとんどが、こん
な私のあいさつでもしつかり返してくれ
るので、私は、とても嬉しい気持ちにな
りました。そして、だんだんと、不安も
なくなり、みんながこんなにもあいさつ
を返してくれるのなら、自分ももっと大
きな声で、笑顔であいさつしようと思
えるようになりました。その後、誰
にでも大きな声で、笑顔であいさつがで
きるようになり、親や先生から褒められ
るようになりました。そのときは、ほめ
られることがうれしく、さらに頑張ろう

という気持ちになりました。

そんなある日、私がいつものようにあ
いさつ運動をしているときです。私が、
「おはようございます。」とあいさつして
も、返してくれず、ずっと下を向いたま
ま通りすぎる子がいました。その子が、
おとなしい性格なのはわかっていまし
た。私は、「全員が全員あいさつを返し
てくれるわけではない。」と心のどこか
では分かっていた。でも、あいさ
つをしても返ってこないことに、少な
かずショックを受けました。その日は一
日中気分がすぐれませんでした。それ
も、私は、「中にはあいさつが苦手な子
もいるんだ。」と自分に言い聞かせなが
ら運動を続け、その子にも諦めずに、「お
はよう」とあいさつし続けました。

ある朝、いつものように私はその子に
「おはよう」とあいさつをしました。私は、
「今日ダメか。」と思っていました。私
はその子が初めてあいさつを返してくれま
した。いつもは、下を向いてなかなかあ
いさつを返してくれなかったのに、顔を
少し上げて、小さな声であいさつを返し
てくれたのです。私は、一瞬固まってし
まいました。でも、泣きそうになるくら
い嬉しかったです。その子もきっと自分
からあいさつができて嬉しかったと思
います。私に心を開いてくれたのかなとも
感じ一日中、心がぽかぽか温かくなりま
した。この出来事をきっかけに、私は、
「あいさつは人を元気にさせるな。」と感
じるようになりました。

私自身も、中学生になった今、学校で

嫌なことがあっても、帰り道に地域の人の
あいさつで自然と笑顔になることがあ
ります。改めてあいさつの力ってすごい
なと感じます。

あいさつは社会のルール、基本的なマ
ナーとも言われます。そして、私はコミュ
ニケーションのきっかけを作ってくれる
ものがあいさつだと思っています。人と
のコミュニケーションがとれば人間関
係もスムーズになり、更に楽しい毎日が
送れるようになると思います。

今、あいさつをするのが苦手な人は、
少し勇気を出して、まずは、家族からで
も、少しずつあいさつを試してみせ
んか。私も最初は自分からあいさつするの
が苦手だったけど、今では、積極的にあ
いさつすることができるようになりました。
そのおかげで、毎日、楽しく、充
実した日々を送っています。

あいさつは人を元気にする力がありま
す。そして、あいさつは、自分も元気に
してくれます。私は、これからも、笑顔
で、誰にでもあいさつをし、元気に毎日
を過ごしていきたいです。

(原文のまま掲載しています。)